

令和5年度第1回地域家庭教育推進県中ブロック会議

□ 日 時

令和5年6月12日(月) 13:30～16:30

□ 会 場

郡山合同庁舎仮設庁舎 第1会議室

福島県教育委員会では、「本県の家庭教育推進上の大きな課題である『親の学び』を支援する」ことを目的として、「地域でつながる家庭教育応援事業」を実施している。

まず、福島県地域家庭教育推進協議会（年2回）」と「地域家庭教育推進ブロック会議（各地区年2回）」での協議を踏まえて、大きく2つの事業を実施している。

1つ目に「家庭教育応援プロジェクト」を位置付け、「親子の学び応援講座」「家庭教育応援企業推進活動」を実施している。

2つ目として「家庭教育応援リーダー育成事業」を位置付け、「家庭教育支援チームスキルアップ研修」「家庭教育支援者地区別研修」「福島県家庭教育支援チーム」により全県及び各域内の家庭教育支援者の実践力向上を図っている。

地域家庭教育推進県中ブロック会議は、域内の家庭教育の現状を把握し課題を整理することで、各地区PTA連合会、地域代表、企業代表等と連携しながら、各家庭の実践へとつなげることを目的としている。家庭教育に関わる様々な見識を持っている「推進委員」による協議を通して、学校・家庭・地域が連携し、家庭教育の推進、子どもたちの生活習慣の改善、課題解決に向けての実践的な活動がなされるよう協議している。

【推進委員】

- 県中ブロック会議 アドバイザー
- 家庭教育推進アドバイザー
- 特定非営利活動法人のびのび福祉会
- 須賀川市家庭教育インストラクター
- かがみいしスポーツクラブ理事長
- 郡山青年会議所理事 青少年育成委員会委員長
- 郡山市主任児童委員
- 元須賀川市生涯学習インストラクター
- 郡山警察署生活安全課少年女性安全対策第2係長
- 県中児童相談所 主任児童福祉司
- 田村市保健福祉部こども未来課 課長補佐兼子育て応援係長
- 郡山市私立幼稚園・認定こども園PTA連合会会長（双葉第二幼稚園PTA会長）
- 郡山市PTA連合会副会長（郡山市立小原田中学校PTA会長）
- 岩瀬地区PTA連合会会長（鏡石町立鏡石中学校PTA会長）
- 石川郡連合PTA会長（石川町立野木沢小学校PTA会長）
- 田村地方PTA連合会会長（三春町立沢石小学校PTA会長）

□ 日 程

時 間	内 容	
13:30～	開 会 行 事	○ 所員自己紹介 ○ 日程説明
13:45～	経 緯 説 明 等	○ これまでの経緯説明と今年度の取組について
14:00～	講 話	○ 「『みんなが集う居場所づくり』kokoyori の活動について」 kokoyori 代表 熊田ひろみ 氏
14:55～	協 議	○ 「地域や学校、各関係機関における家庭教育の現状と課題」 ①家庭教育応援プロジェクト（県中版）の検討 ②家庭教育支援におけるアウトリーチ型支援につなげるための連携について
16:15～	提 案	
16:20	閉 会 行 事	○ 御礼・諸連絡

講話 「『みんなが集う居場所づくり』kokoyoriの活動について」

kokoyori 代表 熊田ひろみ 氏

- Kokoyori では親子・家族の境界線なくお互いを助け合い、支え合いながら子どもも大人もともに成長し合えるような、誰もが安心して過ごせるような居場所づくりを目指している。
- 放課後わらりら
毎週水曜日の午後から居場所と夕食の提供を主に、子どもだけでなく大人も一緒に遊んだり勉強したり、作ったりする時間を楽しんでいる。夕食の食材はほとんどが寄付で賄われている。特にパズルをよく楽しんでいる。その中で互いに話を聞きながらも聞き流している様子が見られ、それがよいらしく、話を聞いてもらうだけで気持ちが楽になっているようである。
- フードパントリー
地域の方々や企業からお預かりした食材や日用品を子育て世帯や地域の方々に渡す活動をしている。家族によっては昨日は「大丈夫」と言っているが、次の日慌てて「食べるものがない」と言って訪れる人もいる。見通しを持つことができなく困ってしまう人の例である。また、電話がかかってきて「食べるものがないんです。」「冷蔵庫見てごらん。」「ありました。」ということもあった。
- おゆずり会
子ども服やおもちゃなどを中心に使わなくなった物を預かって、必要な方に渡している。年に数回まとめて行っている。
- kokoyori ハウス Open day
おしゃべりや物作りなど自由に過ごせる時間を不定期ではあるが提供している。
- kokoyori とは
登校できない子どもや問題行動傾向のある子どもも kokoyori では、ここに来てくれるだけで、居るだけでよいという関わり方をすることで、いつでもだれでもよりどころの居場所となっている。「おたがいさまの精神」で支援し合える関係であり、受けた恩を次へ繋げる温かい雰囲気作りができています。また、来る人々は深刻な状況であることも多いが、話を聞いて



でも一緒に落ち込むことはせず、笑い飛ばす明るさ、そしてその人のそのままを受け入れる受容的な態度、なんとかなるという楽観的な心持ちを心がけている。

「心のよりどころ」として、ここに来れば、誰かがいる。ここに来れば、安心する。ここに来れば、自分を必要としてくれる人がいる。ここから始められることがあり、始まることがある。このような思いを大切に、これからも活動していきたい。

協議 「地域や学校、各関係機関における家庭教育上の現状と課題」

議長 県中ブロック会議アドバイザー 知野 愛 氏

自己紹介及び家庭教育の現状と課題について情報交換

＜アドバイザー、推進委員の意見＞

- ・ 次の世代の担い手への引き継ぎは、タイミングを考えながら行っていく必要がある。地域・学校・家庭が明るくなることを願って活動している。
- ・ 子どもたちは、学校である程度緊張して、学童へやってくるので、様子をじっくり見つめ、児童理解を深めるようにしている。保護者と連携して繋がり続けることが大切である。学童の役割として、保護者にもよりどころとなれるようにしたい。また、特別な支援を要する児童もいるが、個性と捉えて温かく支援していくことが大切である。
- ・ 就学時健診時の家庭教育学級を実施している。一斉形式とグループ形式の2種類あるが、グループ形式の方が個別の支援が行き届きやすい。
- ・ スポーツクラブでは、家族や親子で参加できるように工夫している。また、学校と連携し、部活動などで地域人材の活用を図り、地域コミュニティの再生を支援していきたい。
- ・ スポーツ離れが深刻化しているように思う。リトルリーグのチーム登録が減少している。ICT時代でもありコミュニティの減少が深刻ではないか。
- ・ 学校との連携が大切である。大きい学校と小さい学校の格差もあるのではないか。例えば、卒業アルバムの負担は大きな差がある。
- ・ 共働きの家庭が多い。親同士が繋がることのできる場所、機会が欲しい。ある程度の活動ができるには時間的にも余裕がない。家庭環境を整えるにはどうすればよいか考えていきたい。
- ・ PTA 連合として各学校の課題をどう伝えていくか。地域の課題に対してどのように対応していくか。支援していくかを考えている。
- ・ 小規模校で少子化の中ではさまざまな活動への参加に限界がある。子育て相談できる場所が少ないように感じる。
→ 各行政機関に相談できる窓口があるので遠慮なく利用していきたい。周りの目が気になるときは他の市町村に連絡してみるのもよい。
- ・ 人間関係の希薄化が問題だと思う。少人数の学校だからこそ、親と子の会話を大切に子どもとの繋がりを作っていきたい。子どものがんばりをよく見つめていきたい。保護者同士の情報交換を密にしているので繋がりはある程度できている。さらに地域のコミュニティの充実を図っていきたい。

＜総括＞

- ・ 親同士、親子同士、子ども同士の繋がりを含めて、繋がり、連携を深めるためのコミュニケーションの希薄化が課題である。危機感を持つことが大切である。
- ・ 本日の講話から、家庭教育支援に当たっては楽しむことや困難も笑い飛ばすぐらいの明るい気持ちが重要だと学んだ。また、様々な機会に参加してもらえるように広報の仕方の工夫も必要である。そして、親子一緒に参加できるような仕掛け作りを考えていきたい。



「コミュニケーション!」「家族で」「地域で」「学校で」

『我が家のアクション』できることから取り組もう!

提案・その他 「家庭教育プロジェクト(県中版)について」

Action1 我が家の「メディアコントロール」

- ・ メディア機器の使い方の約束を決めましょう。
- ・ ノーメディアコントロールデーを決めてチャレンジしてみましょう。
- ・ 持たせることに親は責任をもちましょう。
- ・ 持ったら子どもも自己責任をもちましょう。
- ・ 親もスマホを置く勇気をもちましょう。

Action2 家族で「話そう」～我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

- ・ 明るい家庭は、ふだんの家族の会話から。
- ・ たくさん話して、しっかり聞きましょう。
- ・ 一緒に運動をしたり活動をしたりする中で会話を楽しみましょう。
- ・ 親子で一緒に「家読」をしてみましょう。

Action3 子どもをほめよう!自分をほめよう!

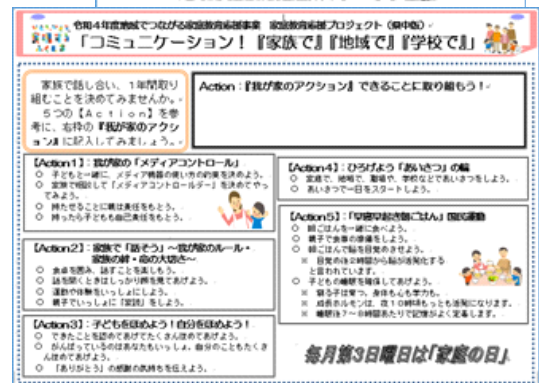
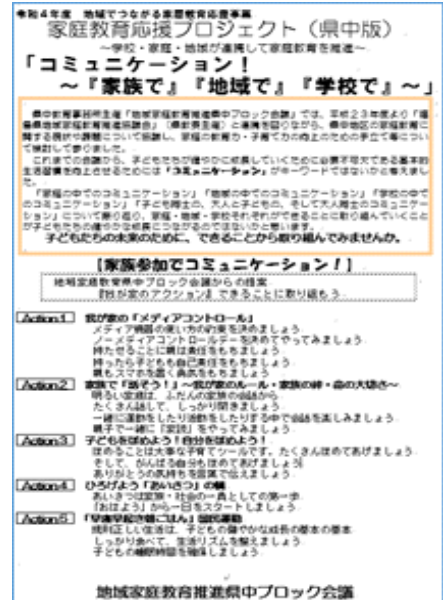
- ・ ほめることは大事な子育てツールです。
- ・ たくさんほめてあげましょう。そして、がんばる自分もほめてあげましょう。
- ・ ありがたいの気持ちを言葉で伝えましょ。

Action4 ひろげよう「あいさつ」の輪

- ・ あいさつは家族・社会の一員としての第一歩。
- ・ 「おはよう」から一日をスタートしましょう。

Action5 「早寝早起き朝ごはん」国民運動

- ・ 規則正しい生活は子どもの健やかな成長の基本の基本。
- ・ しっかり食べて、生活リズムを整えましょう。
- ・ 子どもの睡眠時間を確保しましょう。



◎ 今後の取組について

- 今年度も「家庭教育応援プロジェクト(県中版)」「我が家のアクション」を学校、PTA、家庭教育応援推進活動登録企業へ配付して家庭教育の推進を図っていく。
- 12月2日(土)の県中域内家庭教育支援者育成研修会に可能な方はぜひ参加していただきたい。
- 域内の企業に「家庭教育応援企業推進事業」について啓発をし、登録を呼びかける。
- 各推進委員それぞれの立場で県中の課題を解決できるよう実践、支援していく。
- 1月23日(火)に第2回の県中ブロック会議を行い、今年度の各自の取組について発表を行う。